

令和6年（2024年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和6年2月22日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	與儀喜邦 (立憲なは) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 母子支援について	(1) 母子生活支援センターさくらの病後児保育事業について伺う (2) 特定妊産婦とその子どもを対象とする妊産婦等生活援助事業について伺う
		2 防災行政について	災害時における福祉避難所の計画と取組について伺う
		3 文化行政について	「しまくとうば」の普及・継承について、文化及び教育の視点から伺う
		4 道路交通行政について	首里赤田町の大角座交差点について、以下伺う (1) 交通渋滞の状況と対応について (2) 市道鳥堀南線起点側の拡幅工事について (3) 大角座横断歩道橋の修繕予定について
		5 学校給食事業について	(1) 学校給食費無償化の取組について伺う (2) 栄養管理の取組と課題について伺う (3) 学校給食施設の熱中症対策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	糸 数 貴 子 (ニ ラ イ)	1 男女共同参画行政について	男女共同参画行政について以下伺う (1) 審議会、委員会等における女性登用について現状と課題 (2) 被災時に女性の被害を防止するための男女共同参画行政の役割 (3) 那覇観光キャンペーンレディが、那覇観光アンバサダーになったことについての見解 (4) 男女共同参画行政は全庁的にどのようなリーダーシップをとっているのか
		2 教育行政について	(1) 児童生徒のメンタルヘルスについてどのように取り組んでいるのか (2) 学校のバリアフリー対応について、改修の状況はどうなっているのか (3) 特別支援教育補助員配置の現状と課題 (4) 学校法人が要請している夜間中学の「市町村教室」の設置検討
		3 障害福祉について	障がい者が 65 歳になると従来の障害福祉サービスから介護保険サービスへの切り換えを求められる「65 歳の壁」について、本市の現状を伺う
		4 離婚後の共同親権について	離婚後の共同親権について本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 識 子 (ニ ラ イ)	1 子どもの居場所支援について	ふるさと納税の返礼品に子どもの居場所を登録し、子どもの貧困、居場所の支援に取り組む民間団体に対して支援拡充を図るよう、去る 11 月定例会で求めた。進捗を伺う
		2 保育行政について	きょうだい児を同一保育園へ通えるように対応すべきである。現状と改善に向けての取組を伺う
		3 平和行政について	第 32 軍司令部壕の保存・平和活用について、本市の取組状況及び文化財指定について伺う
		4 文化行政について	中城御殿跡地において、那覇市所有の国宝尚家資料の常設展示・収蔵が県と連携し進められているが、併せて、琉米修好条約関連文書の返還及び常設展示・収蔵を提案する。見解を伺う
		5 人権政策について	子どもの権利条例の制定について、進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 がん教育について	２人に１人が一生のうちに罹患し、国内における死因第１位であるがん。その正しい知識を子どもたちに身につけてもらおう「がん教育」の充実が求められている。以下伺う (１) 学校におけるがん教育の目的と在り方 (２) 本市の学校におけるがん教育の実施状況 (３) 医療者や経験者など外部講師の全国及び県内の活用状況
		2 「未来の市長」作文募集の提案	埼玉県新座市では、市内の小学４年生、５年生、６年生を対象に「もしわたしが市長になったら、他のまちに住むみんなに伝えたい新座市のみりよく」をテーマに作文を募集している。那覇市でも作文を公募し、夢を育む取組を提案するが見解を伺う
		3 骨髄ドナー支援について	(１) 那覇市骨髄等移植ドナー支援事業の実施状況 (２) 沖縄県の新規ドナー登録者数と年代別内訳を伺う (３) 骨髄を提供する学生が入退院で欠席した場合、成績評価に影響しない「公欠制度」を、市内に所在する沖縄大学へ導入することを昨年６月定例会で提案したが、状況を伺う
		4 道路行政について	市道真嘉比松川線の４車線道路について、市道大道北線から信号待ちで合流する際、車両をゆずるゾーンもしくはエリア等を設けられないか。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	屋 良 栄 作 (自民党・みんなの協働!) 【質問方式】 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 外国との経済観光連携について 2 若者の定住と商店街振興について 3 こどもへの防災ずきん支給について 4 大津波警報を想定した避難訓練について 5 じゅり馬祭りについて 6 中環状線へのおゆずりゾーン設置について 7 新型コロナワクチン関連	台北・那覇・福州によるインター・リージョナルな経済観光連携を提案したい。見解を伺う 歴史的風情や情緒のある古いエリアへの若者の出店や定住は、本市の活力になると考える。見解を伺う 地震などの災害を念頭に、こどもの頭を守るために、こども園や保育園に防災ずきんを常備してはどうか見解を伺う 元日に発生した能登半島地震にかんがみ、大津波警報を想定した避難訓練を学校で平日に実施すべきと考える。見解を伺う 前の那覇市三大祭りの一つであるじゅり馬祭りの文化的価値と本市による支援の可能性について伺う 車で、大道側の住宅エリアから中環状線へ出るのが、中環状線の渋滞状況によっては、生活に支障を来したり、危険な状況を生み出している。合流エリアに他自治体の事例を参考に、おゆずりゾーンを設置していただきたい。見解を伺う (1) 本市の予防接種健康被害救済制度に基づく申請状況や救済状況について伺う (2) 本市で独自に被害状況を調査した上で、国に対策を要請していくという能動的、積極的な対応を要望したい。見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 教育行政について	(1) 給食費や給食内容について、保護者に対し、アンケートや説明会などを実施したことはあるのか伺う (2) 学校における動物飼育の位置付けと現状について伺う (3) 2018 年 9 月定例会でランドセルについて、2023 年 9 月定例会で式服について質問したが、その後実施するとした調査と検討の内容について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 地域行政について	(1) 2010 年 12 月定例会でフェンスの撤去など、記念碑を含めて那覇市の財産を有効活用できるよう提案し、14 年以上を経て、ようやく実現しそうな美栄橋公園について、既存の樹種選定や記念碑の経緯、今後の計画や地域との関わりについて伺う (2) 自動車を抑制するとあらゆる計画に掲げている中心市街地において、かつてのにぎわい広場がコインパーキングになったことについて、暫定という言い分とともに、一定程度の駐車場の確保が必要であると那覇市は理由にしている。それでは、カーシェアリングが行われ、一般公共の用に供しない駐車場となっている説明を伺う (3) マックスバリュー牧志店前の三叉路、牧志 23 号が、長年続く安里川の工事の影響で逆走が発生している。那覇市の対応を伺う (4) 入院に至らないなどの救急搬送に対する選定療養費について、那覇市の考え方を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 経済行政について	(1) 高齢者への就活支援について、那覇市の取組を伺う (2) なはけいざいマガジンの取組について伺う (3) 1月25日の総括質疑において、「次年度、システム改修をするということになったときに、それをもって今年度の、令和5年度の分の遡及が技術的にできないのか」、「年度が変わると、あるいはできないという根拠とかというのがあるのかどうか」というニライ会派の質疑に対し、総務部長は「鋭意検討してまいりたいと思います」と答弁している 他方で、2月14日の代表質問での、「何が市の判断を変えたのか、そのプロセスにも接してきた調整監に答弁を求めたい」との質問に対し、政策統括調整監は、「自民党・みんなの協働！会派から委員会審議のさなかではございましたが、システム改修後、年度をまたいででもという趣旨の提言が市長に対してなされております。これまで前提としておりました年度内決着にこだわる必要がないという点で新たな視点となり、システム改修は時間さえかければ可能であること、加えて年度またぎによりこれまでの制約が一つ外れたことで実現可能な具体的な選択肢になったものと認識をしております。」と答弁している 総務部長は、1月25日にニライ会派の提案を受けて、年度をまたいででも実現することを鋭意検討するとし、同じ1月25日に事業者の責任者へ直接改修要請を行っているのに、政策統括調整監は1月26日の提言で、ようやく新たな視点となったのであれば、知念市政の在り方に疑問を感じざるを得ないが、一連への那覇市の認識について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	坂 井 浩 二 (自 由 民 主)	1 交通行政について	本市の交通政策について以下伺う (1) 先日、石垣市が市独自のライドシェア政策を打ち出した 国のライドシェア政策、石垣市独自の政策について伺う (2) タクシー不足について、市民の移動手段の確保及び観光への影響についてどのように認識しているか。また、駐機場に停車されたままの法人タクシー及び個人タクシー等の活用について本市の見解を伺う (3) 銘苅パーキングを含む本市が管理するパーキング活用状況について伺う
		2 教育行政について	市内小中学校 53 校において、春休み期間を 6 日間延長する方針を示した。教職員及び子ども達へどのような効果があるのか伺う
		3 子ども行政について	本市内の認可保育園、認可外保育園及び児童クラブに入所できない児童が多数いるが待機児童数の現状を伺う。また過去 3 年間の推移と今後の保育士不足解消を含む支援策について伺う
		4 文化行政について	(1) 令和 5 年 10 月 8 日開催の那覇大綱挽まつりにおいて、知念市長は「那覇市旗頭のまち宣言」を公表した。同宣言を踏まえて旗頭フェスタの開催継続や国内外の伝統文化交流による青少年の健全育成促進について本市は今後どのような方策を推進していくのか見解を伺う

質問方式

総括質問方式
(演壇・質問席)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 那覇市ぶんかテンプス館の設立意義と本来の在り方についてあらためて本市の認識を伺う また同館は伝統文化芸能に携わる方々とこれまでどのような連携を図り、また今後どのような活用促進を図っていくのか伺う (3) 玉城朝薫と平敷屋朝敏から現代に受け継がれてきた那覇市の伝統文化を代表する組踊。先人お二方の果たした功績及び組踊の継承保存・振興について知念市長の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年２月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 政治とカネの問題について 2 米軍基地問題について 3 地震対策と建築行政について	本市の上下水道局用地を巡り、関係者から議会・政治工作費として議長室で 5,000 万円を授受し、久高前議長が逮捕・起訴・送検された贈収賄事件には、市民から怒りと不信の声が寄せられ、那覇市議と市議会の在り方が厳しく問われている。見解を問う オスプレイが墜落しても日本側は一切捜査できず、発がん性のある有機フッ素化合物 P F A S（ピーファス）を流出させても基地内の調査すらできない。治外法権的な特権を定めた日米地位協定のもとで、今なお「憲法の上に地位協定が存在する」（翁長雄志前沖縄県知事）状況が続いている。沖縄県は、2017～22 年度に他国の地位協定や米軍基地の運用状況を独自調査。玉城デニー知事は 10 日、都内で行われたシンポジウムで概要を報告し、日本の現状は「国際常識の立場とまったく逆」だと批判し、「地位協定の問題は全国民、日本の主権の問題だ」と強調している。米軍に国内法を適用しない日米地位協定の問題について見解を問う (1) 真嘉比古島第一地区土地区画整理事業に関して、司法で、「著しく不利益、不公平で、必要な造成工事を完了しない換地処分は、土地区画整理法第 89 条、第 103 条違反」と明確に本市の行政行為の違法が確定している。那覇市の法令違反、法解釈ミス、モラルハザード等で、市民の人権と財産権を侵害し、苦しみ続けることは、行政として絶対にあってはならない行為で言語道断である。30 年余も続く法令違反事件の係争の経緯を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 能登半島地震、石川県内では4万7,000棟以上が全壊・半壊し、一部損壊住宅被害も甚大である。建築基準法は大地震が起こるたびに改正が繰り返されていて、災害ではないもので法改正に至ったのが、2005年に発覚した耐震計算書偽装事件である。1981年の建築基準法施行令の改正により、耐震基準が大幅に見直され、1981年以降を「新耐震基準」、それ以前を「旧耐震基準」と呼ばれている。建築基準法第一条は「この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。」と、規定している。同法の遵守は「最低の基準」であり、建築基準法に則っていなければ違法な建築物となる。宅地造成擁壁として「H鋼材を主要部材とする自立型擁壁」は、建築基準法に則っていない違法な建築物ではないか。具体的な法律根拠に基づく見解を問う
		4 児童生徒と市民の命と安全を守る対策について	(1) 児童生徒の熱中症対策と、災害時に過ごしやすい避難場所を提供するためにも、体育館へのクーラー設置が求められている。その設置率を問う (2) 公益財団法人日本学校保健会の調査で、全国の公立小中高校などで食物アレルギーがある児童生徒は6.3%で、少なくとも約52万6,000人に上り、アナフィラキシーを起こしたことがある児童生徒の数も5万1,881人(0.6%)と増えていることが明らかになっている。本市での状況を問う
		5 平和施策の拡充について	(1) 先の大戦において犠牲となった本市出身の戦没者に対し、心から追悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、恒久平和の願いを後世につなぐために開催される「令和6年那覇市戦没者追悼式(第29回なぐやけの碑慰霊祭)」について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 来年は戦後 80 年。那覇市戦没者追悼式が開催される「なぐやけの碑」の周辺には、対馬丸記念館、戦争慰霊碑、文化関係顕彰碑などがあり、戦争犠牲者を慰霊し、世界の恒久平和を願い、文化をこよなく愛する那覇市民の思い「沖縄の心」を発信する場所となっている。「名は体を表す」、幾度も提案してきたが、その場所にふさわしい、「なぐやけ平和の杜公園」など、平和を冠する名称への変更についての見解を問う
		6 スポーツツーリズムについて	玉城デニー知事は、2023 年 8 月 25 日～9 月 3 日に沖縄アリーナで開催された「F I B A バスケットボールワールドカップ 2023」の沖縄ラウンドによる県内での経済波及効果（速報値）が 107 億 2,000 万円だったと発表し、大会で得たノウハウや構築されたレガシーを、新たな国際大会の誘致や、6 月開催予定されているデフバレーボール世界大会などに活用したいとしている。経済波及効果への見解と本市のキャンプやスポーツ誘致、スポーツツーリズムへの取組について問う
		7 水源地・やんばる地域への還元について	渇水の心配が高まる中、国頭村、大宜味村、東村などやんばる地域の森林は、那覇市民をはじめ、県民の利用する水資源を確保し、ヤンバルクイナ、ノグチゲラなど貴重な動植物、世界遺産となったやんばる地域の貴重な動植物を守る役割を果たしている。ところが、森林の少ない本市が、県内で一番多く森林譲与税の交付を受けている。それを 31 万 5,000 人の市民と観光客などの来県者の水資源確保で恩恵を受けている国頭村、大宜味村、東村などへ還元すべきと考える。宿泊自然学習、地元の森林組合から木のおもちゃなどの生產品購入に活用すべきと考える。対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員会委員長、関係部長